

なす からすやま

No.140

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City

特集 さあ、公民館講座にいきましょう!.....	2
なすから健康マイレージがはじまりました..	6
市内特産物をブランド化.....	8
行政相談委員・民生委員等.....	10・11
入園・入学ぞくぞくと.....	12
春の交通安全県民総ぐるみ運動.....	13
第1回ツール・ド・とちぎ.....	14
けんこう・消費者コラム.....	15
まちのわだい.....	16
インフォメーション.....	18
シリーズ 鳥山高校ってこんなところ!.....	20



2017

5
May

みんなニコニコ〜★(清水川せせらぎ公園)



南那須公民館 ものづくり講座。



境公民館 生花を楽しむ講座。



七合公民館 いちご大福作り。



烏山南公民館 親子そば打ち教室。



烏山公民館 ヨガ教室。



特
集

さあ、 公民館講座に いってみよう！

本市では、市民の生涯学習活動の支援を行うため、ものづくり講座や料理教室、歴史講座など様々な「公民館講座」を開いています。

今月号では、公民館講座について紹介します。

魅力は、世代を超えたお付き合い

公民館講座の魅力は、なんといっても「世代を超えたお付き合い」ができることです。特に、私から見て自分のお母さん世代の人には、たくさんのことを教えてもらいました。例えば、料理教室での出来事。「野菜のゆで汁は捨てずに、最後の洗い物でも使えるのよ」と…。講師の先生から学ぶこともありますが、教科書にはないようなお母さん世代からの知恵を教わり、日常でも実践しています。また、講座に参加して良かったなと思うことは、「筋肉痛」になれたことです。筋肉痛なんて学生の時以来なかったのに、「体づくり教室」に参加して、何十年ぶりの痛みを経験しました…。こんな経験ができたのも、那須烏山市に越してきて間もない頃講座に誘ってくれた近所の友人のおかげ。今年で講座は4年目になりますが、いろんな人にオススメしたいです。



今泉美由紀さん
(南1丁目)



大金静江さん・昇さん
(金井1丁目)

夫婦でライバル？歳をとっても学べる楽しさ

3年前、当時テレビで放送されていた大河ドラマの撮影場所を巡る講座があると聞き、夫婦で参加したのが公民館講座にハマるきっかけでした。とにかくその時の講師の先生の知識が豊富で、聞いていて引き込まれたのを覚えています。それから、歴史や文芸など様々な講座に参加しましたが、栃木県や那須烏山市に縁がある先生にも出会い、「こんなに素晴らしい人が近くにいたんだ」と新たな発見へとつながりました。興味も広がり、今では、なすから英語塾や習い事など週の半分以上は、夫婦で外に出ていろんなことを学んでいます。この歳になってこんなに学ぶ機会が増えるとは思いませんでした。気付けば、夫婦でお互いライバル意識をしながら日々勉強をしています。なぜわからないのだろう？と思うことばかりですが、夫婦で協力してこれからも知識を深めていきたいです。

一歩の勇気が興味と活動の幅を広げるきっかけに

私たちの老後はどうなるのだろう？夫婦で横浜から那須烏山市にきた私はある日、ふと思ったのです。近所付き合いもなく、仕事も退職して家にいる毎日…このままではいけないと。そんな時に広報お知らせ版に載っていた「ものづくり講座」に参加したのが、公民館講座との出会いでした。最初は、知り合いもいなくて心細かったですが、今では互いの家を行き来するほどの趣味の合う友人もできました。講座で知り合った人から勧められて、いきいきサロンなど他の講座にも参加するなど活動の幅も興味の幅も広がりました。夫も同じようにいろんな講座に参加し、最近、習ってきたコンニャクづくりを家でも実践しています。参加するために一歩踏み出すのには勇気がいりましたが、それ以上に楽しいことばかり。今年度は、パッチワークや水彩画に挑戦したいです。



樫村アイ子さん
(熊田)

市民のニーズに合わせた 公民館講座を開いています

近年、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたってあらゆる機会や場所で学習することができるよう「生涯学習」が注目されています。

本市では、市民の生涯学習活動を支援するため、様々な学習ニーズに応じた環境を整備し、各種学習メニューを幅広く行っています。



烏山公民館 自然観察会。

なかでも「公民館講座」は、その中核となります。数多くの講座が開かれ、すが、有効な学習機会を提供するため、参加者にアンケートをとるなどして、参加者のニーズや時代背景に合わせた内容を検討しながら毎年講座を開催しています。

講座を開催している公民館は、南那須公民館、烏山公民館、境公民館、烏山

会場 時期	烏山体育館	境公民館			烏山南公民館			七合公民館
4月	ヨガ教室 全4回		ウォーキング 講座 全5回	四季の彩り 生け花を 楽しむ講座 全4回				健康料理教室 全3回 ※時期未定
5月								
6月					陶芸教室			
7月					草木染教室			
8月								
9月						私の料理 自慢教室 全6回	世界の音楽 を楽しもう 全5回	
10月								
11月					パンづくり			
					歴史探訪 全2回			
12月						手作り こんにゃく づくり		七合公民館 まつり
				おもてなし 料理	繭玉で 干支づくり			ワラで 正月飾り
1月						豆腐・ゆば・ がんもどき づくり		
2月					ディンプル アートと マジック			
3月								

南公民館、七合公民館の5か所。昨年は、ものづくり教室や料理教室、歴史講座など開催された講座全90回で延べ1280人が参加しました。

みなさんの生涯学習活動を応援しています

少子高齢化の急速な進展や雇用形態の多様化、人間関係の希薄化など、生涯学習を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

このような社会の中で、生涯学習は、個人の楽しみや自己の向上のために行われるのではなく、市民一人ひとりが学びを通じて、いきいきと暮らし、人と人、人と地域社会など様々なつながりを育み、多様な文化を尊重したり、互いに支えあいながら豊かに共生するまちをつくることを目的として行うことが、今まで以上に期待されています。

公民館は、「自主的な学習活動の支援」、「生涯学習の中核施設」、「世代を超えた地域づくりの拠点」です。本市では、市民の皆さんがともに学び、ともに活動できる環境づくりを目指しています。公民館講座に参加し、豊かな心を育んでみませんか。

**講座の参加申し込みは
広報お知らせ版で確認を**

公民館講座の各種講座に申し込みするためには、市が毎月1日・15日に発行する「広報お知らせ版」に掲載する募集期間に申し込みをしてください。

■公民館講座年間スケジュール

会場 時期	南那須公民館					烏山公民館				
4月										
5月	講演 「まちづくり を楽しむ」						ポーセリン アート教室 全3回			
6月					太極拳入門 全3回					
7月	まちづくりっ て何だろう 講座 全4回	庭づくり 入門 全5回	切り絵入門 全3回	文芸教室 ～短歌を 楽しむ～ 全3回		アロマセラピ ストによる 虫除けづくり				
8月										
9月					料理教室 ～健康な 食生活～ 全2回		初心者 からの 水彩画教室 全4回	歴史講座 全8回		
10月						ジオパーク を知る講座 全4回			塩原文学史 講座 全4回	
11月	講話「地域で見 守ろう」(青少年 健全育成)					アロマセラピ ストによるハンド クリームづくり				
12月			味噌づくり 教室	パッチ ワーク入門 全3回			お正月フラ ワーアレン ジメント			
1月										しもつかれ づくり
2月										
3月										

「おたのしみプラン」を
ご活用ください

4月の行政区長などを通して配布した生涯学習情報紙「おたのしみプラン」には、市民が学習機会の情報を収集し選択できる場を提供するために、公民館講座はもちろん、生涯学習活動をしている市民およびサークル・団体、外国人講師による英会話教室「なすから英語塾」などを掲載しています。



「生涯学習課公民館グループ」
新しく配置されました

平成29年度から、生涯学習課公民館グループが配置されました。事務室は、烏山公民館内です。職員の在室日時は、火曜日曜日の午前8時30分～午後5時15分です。月曜日、毎月第3日曜日、祝日および年末年始は休業日です。

■問合せ 生涯学習課公民館グループ

☎0287-8311412

健康づくり事業に参加して健康と景品をゲットしよう！

なすから健康マイレージがはじまりました

市では、健康に暮らせる地域づくりを推進するため、市民一人ひとりの健康づくりへの関心を高めようと、4月から「なすから健康マイレージ事業」をスタートしました。

健康マイレージ事業って？

なすから健康マイレージ事業は、健康教室などに参加したり、健康診断を受けたりすることで、ポイントを accru 取り、500円の利用券に交換できる制度です。市民のみなさんの特定健診・がん検診の受診率アップや健康づくりに取り組んでもらおうと始まったもので、特に、若い世代の特定健診・がん検診受診率の向上や、団魂の世代の地域活動への参加のきっかけづくりなどを目的としています。

健康診断（職域で行われる健康診断、人間ドックも含む）を受け、主に市が主催する対象事業（健康に関する事業）に参加することで、ポイントが集められ景品がもらえます。

今年度は、4月1日（土）～平成30年2月28日（水）の間で実施し、那須烏山市に住所のある20歳以上の人が対象となります。

■問合せ 健康福祉課

☎ 0287-88-7115

必須事業

●健康診断を受診する

特定健診、フレッシュ健診、人間ドック、脳ドック、職域の健診

若者チャレンジ!!

20～39歳の人は、ポイント**2倍**
*基準日は、健診日です。

対象事業

●健康マイレージ対象事業に参加する

健康福祉課、こども課、こども館、生涯学習課など主に市が主催する健康づくりに関する事業等

*対象事業は、次項一覧表をご参照ください。
*対象事業には、目印を表示しています。
*同一事業は、何回参加しても1ポイントです。

合計

5

ポイント

スタート

ポイントカードを受け取り、参加します。*事前申込みは不要です。

ポイントカード配布場所：健康福祉課（保健福祉センター）
市民課（烏山庁舎）
市民課総合窓口（南那須庁舎）

ポイントカード配布期間：平成29年4月3日（月）～平成30年2月28日（水）
（ただし、開庁日に限る）

Let's
チャレンジ!!

ポイントカードに必要事項を記入します。
必須事業と対象事業に参加して、**5ポイント**を貯めます。

*対象となる事業に参加した場合、スタンプを押印します。

対象期間：平成29年4月1日（土）～平成30年2月28日（水）

ポイントを
貯める!

同じ事業は
何回参加しても
1ポイントだよ

ゴール

5ポイント貯まったらポイントカードと引き換えに景品をお渡します。（1人1回のみ）

交換期間：5ポイント達成した日～平成30年2月28日（水）

交換方法：5ポイント貯まったポイントカードを交換期間中に健康福祉課窓口
提出してください。郵送の場合、平成30年2月28日（水）必着。

*記入もれがあると、景品をお渡し出来ない場合がありますので応募前に必ずご確認ください。

景品は、**500円の利用券**です!

烏山城温泉入浴券、山あげ会館ペア入館券、あすなろパン工房「風」、パン職人いっぴ、
カフェ・みつわで使用できます。使用期間は平成30年3月31日（金）まで

さらにお楽しみ抽選で2名様に 利用できるお店は当たってからの楽しみ!!
5,000円分のお食事券が当たります!! 当選者の発表とお食事券の発送は3月中旬を予定しています。

平成29年度なすから健康マイレージ対象事業一覧

必須	健康診断	特定健診、フレッシュ健診、人間ドック、脳ドック、職域で実施する健康診断等を受診し、生活習慣病予防や疾病の早期発見、重症化の予防を図ります。 ▶市の特定健診、フレッシュ健診以外は、結果書等の証明書を健康福祉課に持参して押印	市民課 (83-1116) 健康福祉課 (88-7115)
生活習慣	がん検診	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、前立腺がんなど ▶市のがん検診以外は、結果書等の証明書を健康福祉課に持参して押印	健康福祉課 (88-7115)
	健診結果説明会	健診結果の説明や生活習慣改善等に関する情報を提供します。 ▶本人来所に限り押印	
	特定保健指導	健診結果に基づき、生活習慣改善の目標設定、計画立案支援を行い、対象者に合わせたメタボリックシンドローム解消のために運動や食生活を中心とした保健指導を実施します。	
	歯科(歯周病)検診	市が実施する40歳、50歳、60歳、70歳の市民の方(個別通知あり)で医療機関等で受診した方、市の集団健診時に受診した方が対象です。 ▶結果書・領収書等証明書持参で押印	
	体組成測定・健康相談	保健師によるからだやこころの健康に関する相談を実施します。 希望により体組成測定を実施します。	
	健康教室	生活習慣病予防に関する健康教室。 血管若返り教室、CKD(慢性腎臓病)予防教室等	
	健康福祉まつり	年1回開催される健康と福祉に関するイベント。 ▶健康ブースへの来場もしくは、ボランティアとしての協力で押印	
運動習慣定着	ウォーキングセミナー	正しいウォーキングを普及し、運動を習慣化するための教室。	健康福祉課 (88-7115)
	市民ハイキング	健康づくりを目的としたハイキング。	生涯学習課 (88-6223)
	B&G水泳教室 (教室参加者)	B&G利用の水泳教室。	
	マラソン大会	健康づくりを目的としたマラソン大会。	
健康な食事	妊婦・産後ママサロン	妊産婦同士の交流や産前後の情報提供・気分転換を目的とした教室。	こども課 (88-7116)
	離乳食相談	管理栄養士(栄養士)や保健師による離乳食等の乳幼児の食事に関する個別相談。	健康福祉課 (88-7115)
	食生活相談	管理栄養士(栄養士)と保健師による食生活に関する相談。	
	地区別料理講習会	食生活改善推進員さんによる、食生活を中心に健康を考えた地域で実施する料理教室。	
	塩分測定	食生活相談等で、家庭のみそ汁等の塩分濃度を測定します。	
	男☆遊々くらぶ	介護予防を目的とした男性のサロン。	
こころの健康	ゲートキーパー養成講座	こころに問題を抱えた人に気づき適切に関わる人を養成する講座。	健康福祉課 (88-7115)
	元気あっぶ市民の集い	健康福祉課と那須烏山市健康づくり推進協議会が主催するからだこころの健康のためのイベント。	
次世代の健康	母子健康手帳の発行	妊娠から出産、そして育児期間にわたって、母子の健康状態を記録する大切な手帳の発行。	こども課 (88-7116)
	こども館事業	こども館が主催する子育てを支援する事業。	こども館 (80-0281)
	公民館講座	生涯学習課が主催する健康に関する講座。	生涯学習課 (88-6223)
	終活講座	市や南那須医師会が主催する終活に関する講座。	健康福祉課 (88-7115)
	育児支援ボランティア	市が主催する事業において、託児などに協力するボランティア。	こども課 (88-7116) こども館 (80-0281)
地域支えあい	食生活改善推進員活動	「私達の健康は私達の手で」をスローガンに地域で食を中心に健康づくり活動を行っているボランティア。	健康福祉課 (88-7115)
	介護予防大会	健康福祉課と認知症連携推進協議会が主催する、認知症や介護予防に関するイベント。	
	認知症サポーター養成講座	認知症になっても安心して暮らせるまちを目指し、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を見守るサポーターを養成する講座。	
	介護予防サポーター	公民館等において、高齢者の健康づくり、介護予防を行う「いきいきサロン」を支援するサポーター	
	ふれあいの里スタッフ	公民館等において、自治会を中心に週1回、高齢者の健康づくり、介護予防を行う「ふれあいの里」を支援するスタッフ	
	献 血	社会貢献、助け合い。 市で実施する献血や献血ルームでの献血。 ▶市以外で実施した場合は、献血カード等証明書確認後、健康福祉課で押印	

地域おこし協力隊 半年間の 取り組みを報告



上：活動報告をする地域おこし協力
隊員／下：報告に対して活発に意見
や感想などが述べられた報告会。

3月24日(金)、鳥山商工会で「地域
おこし協力隊活動報告会」が開か
れ、地域住民など約40人が参加し
ました。

本市では、昨年10月と11月に、田
中勇人さん、榎本真紀子さん、市田
久美子さんの3人が地域おこし協
力隊に任命され、それぞれ活動を
スタートしました。3人は、地域
課題を洗い出すフィールドワーク
を行いながら、起業家として自立

できるスキルを養うための研修へ
の参加や、実際に地域に出向き、魅
力発信のための研究などを行って
います。

報告会では、半年間で行ってき
た取り組みや、地域づくりのため
の提案、今後の活動などが発表さ
れました。発表の中では、「市内に
活用できる資源がたくさんあるの
に地域の人は気付いていない」「行
政のホームページに頼るのではな
く、顔の見えるもつとディープな
情報発信が必要」「まちへの理解

や共感をもらう入り口として
ネットラジオはどうか」など様々
な問題提起や今後の活動案が出さ
れました。

そのほか、元・地域おこし協力隊
で一般社団法人村楽の東大史さん
による講演会が行われ、「地域おこ
し協力隊の『失敗の本質』」をテー
マに、他地域の協力隊の活動事例
などが講じられました。



農業公社に県内初の株式会社設立（左：福田
光宏代表理事、右：池田一朗代表取締役）。

農地保全や農家の経営規模拡大を目指して 農業公社が株式会社を設立

一般財団法人那須烏山市農業公
社は4月3日(月)、「株アグリ那須烏
山（以下、「同社」）」を設立しました。
農業公社が株式会社を作るのは、
県内で初めて。農作業の受委託や
農業機械のリースなどを行い、農
地保全や農家の経営規模の拡大、
農業経営体の育成、集落段階の営
農の安定を図ります。

株式会社設立に向けて農業公社

は、市やJAなす南などの関係機
関と平成28年度から協議を開始。
市内で深刻化する高齢化による離
農の加速や耕作放棄地の増加を食
い止めるため、将来を見すえた地
域農業の体制を検討してきました。
これまで農業公社で農作業の受
委託なども行ってきましたが、今
回の株式会社化により耕作権を取
得。農地の借用が可能になり、農業
への参画が一層強化されました。

同社では、「農作業受委託推進」、
「無人ヘリコプターによる航空散
布」「飼料用稲供給」「飼料用米生
産」を主軸に事業展開し、今年度
は、8ヘクタールの農地を借りて
飼料用米を作付けする予定です。
池田一朗代表取締役は「今後は
作付け面積を増やすとともに、農
家の負託に応える体制づくりを進
めていきたい」と話していました。

市内特産物をブランド化 中山かぼちゃを第1号に認定

市では、JAなす南中山か
ぼちゃ部会が生産する「中山
かぼちゃ」を「市農林水産特産

物認証制度」の第1号として、3月
23日(木)に認定しました。

同制度は、平成28年度に創設さ

中山かぼちゃは、先がとがった
紡錘型で、皮が非常に薄く、さつま
いものようなほくほくとした食感

の地域の方々と保護・保存する
「フードアルチザン活動」に参加
し、販路の拡大を図るなど様々





「グループホームサルビア」で行われた落成式。

障がい者のための グループホームが開所

障がい者の高齢化等を見据えた
グループホームサルビアを新設

社会福祉法人大和久福社会と社会福祉法人みつわ会が、障がい者のための新たなグループホームをそれぞれ立ち上げ、4月から利用が開始されました。

大和久福社会では、障がいの重度化や高齢化を迎える障がい者に対応するため、「グループホームサルビア」を大和久福社会内に建設しました。

これまでに大和久福社会では、昭和35年の創設以来、大和久学園や就労支援事業所「いっぴ」などの運営のほか、10か所のグループホームを運営し、障がい者への生活支援などを行ってきました。しかし、高齢化などにより病院の入退院を繰り返したり、利用者に認知症傾向が見られるようになったりと、通常のグループホームでの共同生活が困難になってきたことから、



認定証を受け取る佐藤部会長。

れ、市内の農林水産特産物のブランド化を推進し、地域農業の活性化と知名度向上を図るのが目的。認定には、県塩谷南那須農業振興事務所やJANAなす南、市観光協会などで構成する認証委員会が、商品特性や継続的な供給ができるかなどを項目として審査し、決定します。

が特徴。現在、同部会員11人と1団体により2ヘクタールで栽培されています。平成25年7月には、中山かぼちの生産、流通、販売を強化するため、「ほっこり中山かぼち55クラブ」を設立。販売に関しては、イオンリテール(株)の日本の食文化を支える食材や技術といった伝統そのものを、日本各地

な取り組みを行っています。
3月30日(木)に市役所南那須庁舎で行われた認定式では、大谷範雄市長から同部会長の佐藤正宏部会長に認定証が手渡されました。
大谷市長は、「ブランド力を前面に押し出し、価値を高めたい。また、生産者や安定した生産量の確保のため、行政としてもで

きるかぎり協力したい」とコメント。佐藤部会長は、「これからも完熟したおいしいものを消費者に届けたい」と意気込んでいました。
同部会では、今年度に生産する中山かぼちから認証マーク入りのシールを貼って出荷する予定です。

大和久福社会「グループホームサルビア」
みつわ会「よこまくらグループホーム」

医療機関などの支援を得ながら安心して支援を受けられる施設の建設へと至りました。施設は、8つの居室のほか、食堂や談話室なども設置されています。

3月30日(木)に行われた落成式で、塩野栄司理事長は、「今後も職員の連帯体制を整え、利用者が安心して支援を受けられる施設運営を心掛けたい」とあいさつしました。

旧やまびこの湯の跡地を
よこまくらグループホームに

みつわ会では、旧やまびこの湯の跡地を利用し、「よこまくらグループホーム」を建設しました。

同跡地は、平成21年12月に温泉施設を閉館後、市でも施設の再利用の検討を進めていました。昨年



交えた交流会が行われた「よこまくらグループホーム」。

6月に同跡地の利活用事業を公募したところ、みつわ会よりグループホームとして活用したいと応募があり、審査を経て、市との使用賃借契約を締結しました。

みつわ会は、平成16年に創設。「み

つわ工房」や「カフェ・みつわ」の運営を行ってきましたが、家族が老人ホームに入るなどで一緒に過ごせなくなった利用者が年々増加していたことなどから、みつわ会で初めてとなるグループホームを建設しました。施設は、男性7人までが生活でき、共同の食堂や台所、浴室、トイレなども完備されています。小鍋光則施設長は、「支援事業をとおして、障がいを持つていても障がい者が地域の中に溶け込めるような環境を作っていきたい」と話していました。

4月15日(土)には、横枕自治会の住民を交えた交流会が「よこまくらグループホーム」で開かれ、利用者と住民が交流を深めました。

中山さんが退任 新たに赤羽さんを任命

らの委嘱をうけ、行政に対する苦情や要望を「行政相談」というかたちで受け付け、公平・中立の立場から関係行政機関への通知などを行う組織です。

退任された中山さんの後任として、南那須地区は南大和久の赤羽幸雄さんが行政相談委員として任命されました。烏山地区は引き続き、興野の金枝幹雄さん、中央3丁目の萩原宣子さんが担当をします。相談所の開催日程およびお問い合わせ先は次のとおりです。

■日程・場所

・毎月第1、第3水曜日 午前9時～正午（社会福祉センター）

・毎月第4水曜日 午前9時～正午（保健福祉センター）

■問合 栃木県行政評価事務所

☎0570-090110

3月31日（金）付けで、南那須地区の行政相談員として10年間にわたりご活躍された大金の中山榮子さんが、退任されました。

行政相談委員とは、総務大臣か



上：感謝状を受け取る中山さん／下：行政相談委員の皆さん（左から、赤羽さん、萩原さん、金枝さん）。

シリーズ 市の文化財 第73回

市指定有形文化財

銅造 観世音菩薩立像（興野）
かんぜおんぼさつりゆうどう



像高約3.5cm、一铸造りの銅像です。像全体の損傷が激しいため尊名や制作時期の判別は困難ですが、中世期に制作された観世音菩薩像であると推定されます。僅かに、頭部の宝髻、両手の持物、目や鼻のタガネ調整などの痕跡が確認でき、両袖下の天衣や足下の台座も明瞭に表現されています。親指程度の小さな仏像ですが、細かな部分まで丁寧に仕上げられています。

※一铸造り…铸造型を使って像全体を一度に制作する工法。

※宝髻…仏様の髪を頭上で束ねた髪型。

※持物…仏様が手に持つ持物。

※天衣…仏様の肩や腕にかかる長い布。

1561柱の英霊に献花 平和を願って戦没者追悼式を開催

日清・日露戦争から第二次世界大戦までの戦火で、尊い命を失った戦没者を追悼する「戦没者追悼式」が南那須、烏山の両地区で開かれ、地域住民など317人が平和を願う白菊を献花しました。

4月12日（水）には、南那須公民館で南那須地区戦没者追悼式執行委員会（鈴木定男委員長）により、追悼式が開かれ、598柱の英霊を追悼。15日（土）には、烏山彰徳会（小森和昌会長）による追悼式が烏山体育館で開かれ、963柱の英霊に献花を行いました。



献花をする地域住民ら（上：南那須地区、下：烏山地区）。

それぞれの追悼式では、黙とうや主催者の式辞に続いて、大谷範

雄市長や、渡辺健寿市議会議長などが追悼の言葉を述べました。

はりか山に和紙貼り作業をする地域住民。



今年の当番町は「仲町」 山あげ準備着々と。

ユネスコ無形文化遺産に認定後、初の開催となる「山あげ祭」の準備が、今年の当番町「仲町」により、山あげ烏章館を会場に着々と進められています。

3月頃から、舞台背景となる「はりか山」の製作を開始。4月に入り、週3回のペースで、若衆団や仲町の住民で、竹で作った網代と呼ばれる骨組みに和紙を貼る作業が行われました。

仲町は、総戸数約50戸と山あげの当番6町のうち最も戸数が少ない地域。行事には100人以上の若衆が必要ですが、少子高齢化などで人手の確保が難しくなり、若衆が平成24年に活動を一時休止していました。そんな中、自治会全体で祭りを後世に残そうという機運が高まり、自治会の協力などにより活動を再開しました。また、烏山山あげ保存会でも、平成26年に人手不足の当番町を支援する体制を整備。今後、さらなる強化に努めることとしています。

同町若衆筆頭世話人の島崎健一さんは、「人手が少ないからこそ、いつも以上に自治会のみなさんの強い協力体制に支えられている。このまま本番に向けて順調に準備を進めていきたい」と話していました。

今後は、はりか山への絵付けなどを行い、7月初旬にはリハーサルを予定しています。

■仲町で山あげホームページを立ち上げました
<http://www.hidamari-house.co.jp/nakamachi/>
↓市ホームページ内バナーをクリック！



こんなことで お悩みではないですか？

子どもに関すること

- ・妊娠、子育てについて
- ・虐待について

高齢者に関すること

- ・一人暮らしで心配なこと
- ・介護について

障がい児・者に関すること

- ・外出時の支援について
- ・障がい者手帳の交付について

その他生活に関すること

- ・健康、医療、福祉について
- ・生活費について

生活の困りごとの相談相手

「民生委員」は、厚生労働大臣から委嘱を受け、地域の生活困窮者や障がい者、高齢者に関する生活や福祉全般に関する問題について、住民から相談を受けるとともに、関係

誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、民生委員・児童委員が様々な活動に取り組んでいます。生活の困りごとがあったときは、地域の委員にご相談ください。

地域の身近な相談相手として必要な支援を行うのが、「民生委員・児童委員」です。民生委員制度は、その前身となる「済世顧問制度」が大正6年に岡山県で設置されたことが始まりとされ、平成29年で100周年を迎えました。

担当の民生委員・児童委員

市には、自治会ごとに、民生委員・児童委員がいます。お住いの地域の委員については、「広報なすからすやま平成29年1月号No.136」をご覧ください。健康福祉課 ☎0287-8817115までお問い合わせください。

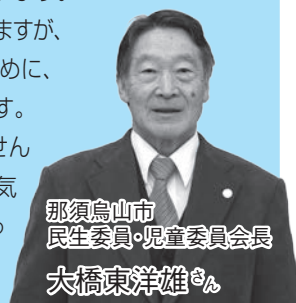
機関・専門機関を紹介するなど、地域福祉の増進に努めています。また、「児童委員」は、妊産婦・児童に関わる問題についても相談に応じ、支援しています。

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談した人の秘密は守られます。「市担当民生委員・児童委員証」を携帯していますので、訪問を受けた際は提示を求めています。

私は民生委員・児童委員を始めて13年目になります。活動としては、問い合わせがあった相談にこたえるのはもちろん、担当地区の高齢者世帯などに足を運び、困っていることを聞いたり、災害対策などができているかを確認したりしています。相談される内容によっては適切な関係機関へとつなぐ役割も果たしています。

年々、地域住民のニーズは多様化傾向にあります。これからも「誰にでも頼られる存在」であるために、信頼される委員を全員で目指していきたいです。

何か困ったこと相談したいことはありませんか？ 那須烏山市には、各地域に委員がいます。気軽に相談してみたいかがでしょうか？ きつと気持ちが楽になるはずですよ。



那須烏山市
民生委員・児童委員長
大橋東洋雄

100周年を迎えました
民生委員制度が

民生委員・児童委員に相談しませんか？



①大きな声で返事をする新1年生(荒川小)
②教科書を受け取る新入生(烏山小) ③名札を付けて保育園の一員に(にじいろ保育園)。



④入園の記念撮影(烏山保育園) ⑤年長組から入園児に手作りのメダルをプレゼント(にっこ保育園) ⑥保護者と入学式に臨む入園児(すくすく保育園) ⑦吹奏楽部の演奏で入場する新入生(南那須中) ⑧厳肅な雰囲気の中行われた入学式(烏山中)。

新学期がスタート 入園・入学ぞくぞくと

桜の花が満開となった4月。市内の幼稚園・保育園や小・中学校では、続々と入園・入学式が行われました。その中からいくつかの様子を写真で紹介します。

5つの小学校では204人が入学し、真新しいピカピカのランドセルを背負い元気に登校を始めました。また、2つの中学校では、憧れの制服を身にまとった214人が夢と希望を胸に新学期をスタートさせました。

交通安全教室で荒川小3年の児童 自転車の交通安全ルールを学ぶ

今年も春の交通安全県民総ぐるみ運動が4月6日(木)から15日(土)までの10日間で行われ、交通事故防止の様々なイベントが開かれました。

なかでも、14日(金)には、市と包括連携協定を締結しているNENZAS(ネザス)ホールディングスとの協定の一環として、烏山自動車学校で「交通安全教室」を開き、荒川小学校3年生の児童



46人が交通安全ルールを学びました。

この教室は、子どもに対する交通事故防止のために初めて行われたイベント。今後、市内の小学生を対象に定期的に開いていく予定です。

当日は、那須烏山警察署の署員から交通安全講話が行われたほか、自転車シミュレーター体験、反射材手作り体験などを行い、交通と自転車ルールの確認や反射材の重要性を学びました。

同校3年の古口哲平さん(田野倉)は、「シミュレーター体験をして、これからは、もつとゆっくり走ったり、周りを確認したりして自転車で乗ろうと思った」と話していました。

同運動の初日となった6日には、山中入口

(写真)上:自転車シミュレーター体験をする児童／右下:信号待ちのドライバ―に交通事故防止の啓発チラシを手渡す大谷市長と塚野警察署長。



交差点で特別街頭指導が行われ、大谷範雄市長、塚野重徳那須烏山警察署長をはじめ、交通安全協会や安全運転管理者協議会の会員など31人が、信号待ちをするドライバ―に、啓発チラシなど約300部を配布しました。そのほか、同運動期間中には、早朝街頭指導も行われ、通学する小中高生に交通安全を呼びかけました。

本物の出会い栃木DCがスタート 30年度の本番に向けて本市PR

栃木県を対象地に実施される大型観光企画「デスティネーションキャンペーン(略称:DC)」のプレDCが今年4月から6月にかけて県内各地で展開されています。

DCとは、JRグループ6社と地域が共同で取り組む国内最大規模の観光企画であり、本番前に向けた試行的取り組みを行うプレDC、本番DC、そして好評企画などの継続実施を行うアフターDCが3年間にわたって実施されます。

4月18日(火)には、ホテル東日本宇都宮を会場に、全国の旅行会社を対象にした全国宣伝販売促進会議が開催され、本市からは仲町の大屋台が展示されたほか、観光



上:山あげ会館でミニチュアの山あげ祭を見学する視察団／下:市の歴史や名所を紹介する市職員。

ブ―スの設置や旅行会社との商談など、本市の魅力を発信しました。また、翌19日(水)には旅行代理店や仲介事業者ら33人が本市を訪問。どうくつ酒蔵、龍門ふるさと民芸館、山あげ会館、そして鳥崎酒造を視察しました。市では平成30年度の本番に向け、烏山の山あげ行事、烏山城築城600年、ジオパーク構想を主要な柱に位置付け、積極的なPRを展開することとしています。

また、DC終了後も年間を通じて多くの観光客に来訪いただけるよう、既存の観光資源の磨き上げに加え、JR烏山線を活用した観光振興の強化に努めることとしています。

- ①まちなかを自転車で駆け抜ける選手たち ②選手に声援を送る地域住民
③にぎわいを見せるO2マルシェ。



②



③



①

第1回ツール・ド・とちぎ

2日間にわたり本市を横断 迫力満点の自転車レースに市民興奮

県内全域を舞台とした自転車ロードレース「第1回ツール・ド・とちぎ（特定非営利活動法人ツール・ド・とちぎの会主催）」が3月31日（金）から4月2日（日）にかけて行われ、1、2日の第2・3ステージのコースとして本市を横断しました。

このレースは、県内全市町を舞台とした国際公認のサイクルロードレースの開催を通じて、とちぎの地方創生を推進することを目的に開かれたもの。自転車先進県「とちぎ」の世界に向けた発信、県のブランドイメージの向上や、開催地域の歴史・文化・食などの資源を活用したとちぎの新たな魅力の創造と、インバウンドを含めた観光誘客による地域経済の活性化などが狙いです。

レースには、県選抜の県勢3チームをはじめ、国内外14チーム81選手が出場し、熱戦を繰り広げました。沿道には、地域住民や自転車ファンなどが大勢集まり、迫力満点のレースに目が釘付けになっていました。

その中でも、1日には、なすから元気会議（山近英史代表により、清水川せせらぎ公園で観戦イベント）「O2マルシェ」が開かれ、地域住民約200人が旭交差点を通過する選手たちに声援を送りました。また、

同公園内では、大型モニターでのレースのリアルタイム中継、レースに使用された自転車の展示、クラフト紙

を使ったモノづくりやデインブルアート体験など様々な催しが行われました。

烏山ロータリークラブ 図書館に児童絵本を寄贈

社会奉仕活動などを行う烏山ロータリークラブ（渡辺大明会長が、市の雑誌スポンサー事業の一環として、那須烏山市立図書館に児童絵本雑誌「こどものとも」を寄贈しました。



図書館の館長らに本を寄贈する同クラブの会員（右）。

この事業は、企業・商店・団体などから雑誌を提供してもらい、そこにスポンサーの広告を掲載して来館者に見覧してもらうもの。同ロータリークラブからは、これまでに児童の本の購入代として毎年1万円が寄付され、図書館で大型絵本を購入していました。昨年度からは、同事業を活用し、年間を通して毎月発行する児童絵本雑誌「こどものとも」を図書館に寄贈しています。

4月4日（火）には、今年度1回目の寄贈が行われ、同ロータリークラブの会員から南那須図書館と烏山図書館の館長へと本が手渡されました。今年度は、年間で2万1600円分の本が各図書館に2冊ずつ寄贈される予定です。

けんこうコラム② なんぼでも★Let's 健活

5月中旬から健康診査(以下「健診」と表記)が始まりますが、ひとつしかない大切な体、毎年健康チェックしていますか？

生活習慣病は自覚症状がないため、放置すると脳梗塞や心筋梗塞を発症する危険性が高まります。今回は、生活習慣病の重症化を予防するためのポイントをお伝えします。

ポイント1 年に一度は健診を受診しよう！

平成27年度の特定健診受診率は30.7%（市の※特定健診対象者で国保のみ）でした。全体の半数以上の人は未受診で、特に働き盛りの40～64歳の受診者数が低い状況です。市の集団健診では、土・日の健診日を設けるなど、受診率向上に向けて様々な取り組みをしています。

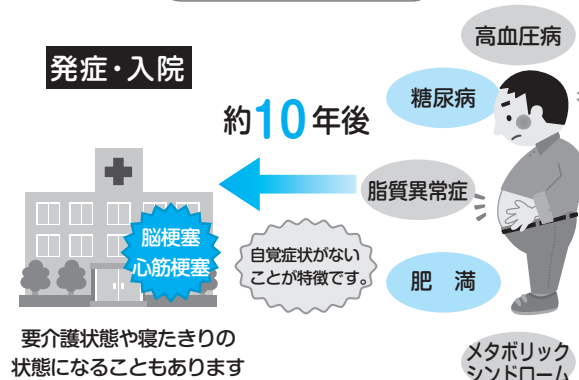
ポイント2 健診の結果を確認して、生活改善!!

平成27年度、市の健診受診者のうち、約3～4割の人が生活習慣病(疑いも含む)未治療の状況です。

市は健診後に結果説明会を行い、健診結果からわかる体の状態を説明し、生活改善のお手伝いをしています。

健診結果に異常がない場合でも、経年的にみると体の変化に気づけるため、昨年度の結果と比較しましょう。また、所見があった場合は、自己判断することなく、かか

発症する人の特徴



りつけ医や専門医療機関等に相談しましょう。

健康の維持は、未来の自分や家族のためであり、医療や介護サービス費等の負担軽減にも繋がります。

今年度、健診は「なすから健康マイレージ事業」の必須事業です。健診や健診結果説明会をセットで受けて、健康と景品をゲットしましょう。

※特定健診…生活習慣予防のためメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診のこと。

～健康増進グループ 保健師より～

消費者コラム②

消費者ほっと♥らいふナビ

今月は、平成28年度に市消費生活センターへ寄せられた相談情報についてお知らせします。

平成28年度に市消費生活センターで受け付けた相談件数は127件となり、前年度と比べると5件(4.1%)の増でした。相談内容としては、スマートフォンや携帯電話での「利用した覚えのないサイト利用料を請求するメールが届いた」などの「架空請求」が大幅に増加し、全体の16.5%を占めています。次いで「無料サイトだと思い閲覧していたら、突然「有料会員登録完了」となり、高額な料金を請求された」などの不当請求と思われる「アダルト・出会い系サイト」に関する相談が、全体の12.6%、光回線やプロバイダの勧誘や契約などに関する「インターネット

ト接続回線」も増加しており、インターネットやスマートフォンの普及に伴う相談内容が増えています。

消費者へのアドバイス

- ・身に覚えのないメールには返事をしない、無視することが最善の被害防止策です。
- ・無料と書かれていても、アダルトサイトには不用意にアクセスしない。
- ・業者から指示されても、プリペイド型の電子マネーを購入したり、そのカード番号を教えたりしない。

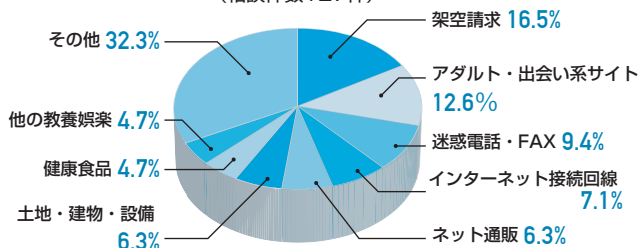
上記のほか、国民生活センターや消費者庁ホームページでは、相談事例やアドバイスがたくさん掲載されていますので、参考にご覧ください。

国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/>

消費者庁 <http://www.caa.go.jp/>

平成28年度相談受付状況

(相談件数127件)



那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。



上から、剣道の演武を披露する宏倫剣道スポーツ少年団／ワークショップや食べ物などの販売が行われたメイン会場／駅前ではシルバー大学校同窓会那須烏山支部による手打ちそばが大好評。

OOGANE木漏れ日マーケット 地域の輪、ひろがるつながる

4月9日(日)、JR大金駅前と南那須図書館東側駐車場を会場に、OOGANE木漏れ日マーケット(同実行委員会主催)が開かれました。

これは、子どもと地域のコミュニケーションをはかることや、大金駅前の活性化を目的に、地域住民や企業、まちづくり団体、行政などが協力して行う手作りのイベントで2回目の開催となりました。今回はJR東日本主催の「駅からハイキング」ともコラボレーションし、ハイキングに訪れた観光客をもてなしました。

当日は、あいにくの天候となりましたが、会場には地域の子どもからお年寄りまで約500人が訪れ、にぎわいを見せました。メイン会場となった南那須図書館東側駐車場では、様々な企業、団体により、焼き鳥

や手作りパン、野菜の販売などが行われたほか、ディンプルアートやボディペイントなどのワークショップコーナーも設けられました。ステージイベントは一部中止があったものの、剣道の演武やフラダンスなどが披露され、会場を盛り上げました。

一方、大金駅前では、地域住民から集められた子ども服などのフリーマーケットや興野で採れた発芽そば粉を使った手打ちそばの販売が行われました。

同実行委員会委員長の矢口和美さんは、「前日には、出店などをした団体から35人が準備を手伝ってくれた。これからも、様々な人や団体を巻き込んだ手作りのイベントを開き、地域の輪が広がっていければ」と笑顔を見せていました。

エクストリームシリーズ2017那珂川大会 130人が大自然の里山を駆け抜ける



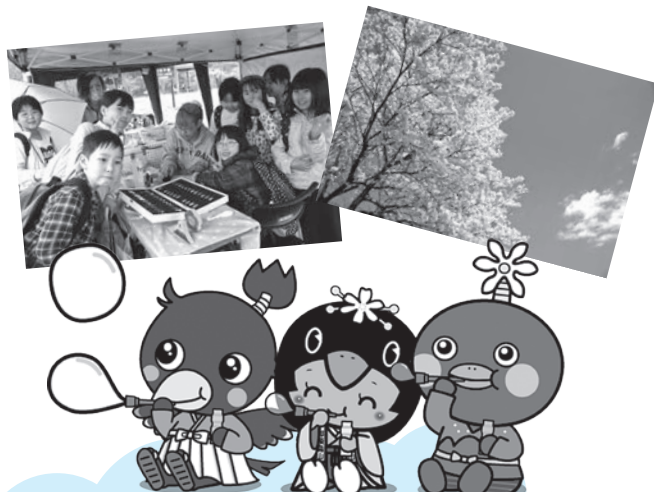
満開の桜の中スタートする選手。

エクストリームシリーズ2017の第1戦となった那珂川大会が、4月15日(土)、大木須のオオムラサキ公園を発着点に開かれ、全国各地から45組130人が里山を駆け抜けました。

この大会は、地球上のあらゆるフィールドをステージに、様々なアクティビティを駆使しながら、主に3人1組で移動していくレース。本市での開催は、連続13回目となりました。

コースは、全長約30キロメー

トル。スタート20分前に渡された地図を頼りにコース内に散りばめられたチェックポイントをランニングや、マウンテンバイク、カヤックなどで通過します。大会終了後には、「里山のつどい」大木須が開かれ、大木須の住民によるおもてなしに参加者は疲れた体を癒していました。また、この日、古民家おおぎすには31人が宿泊し、里山の大自然を満喫しました。



まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計グループ ☎0287-83-1112

アユ釣り解禁日に向けて 那珂川にアユを放流

6月1日(休)のアユ釣り解禁日に向けて、市内の漁協組合では、4月から那珂川流域へアユの稚魚を放流しています。

解禁日までに、那珂川南部漁協組合(大森一良組合長)では約3.6トン、那珂川中央漁協組合(松本國夫組合長)では約1トンを放流します。

毎年、解禁日には大勢の太公望でにぎわう那珂川。アユの遡上も順調に確認されているようで、今年のアユ釣りも期待できそうです。



上：はりか山に和紙を貼る作業を見学／下：桜をバックに記念撮影。

街に賑わいを興す会(小川三雄会長)では、4月9日(日)、「着物で春爛漫の桜巡り」を開きました。14回目となった着物での街巡り。回を重ねるごとに、クチコミなどで話題が広がり、キャンセル待ちが出るほどの人気ぶりです。

当日は、あいにくの天候となりましたが、県内外から53人が参加し、着物をまとい雨の中の街巡りを楽しみました。山あげ会館を出発した一行は、烏山から大金駅までを「R烏山線」アキム」に乗り。その後は、バスを使い、大金駅前と南那須図書館東側駐車場で開かれていた「木漏れ日マーケット」に参加したり、市内の飲食店で昼食をとったり、八溝県民休養公園でのお花見をするなど春の景色を楽しみました。そして、山あげ会館に戻り、館内見学をしたほか、烏山語りの会による民話の語り

に耳を傾けました。また、山あげ烏章館で仲町若衆らによって行われていた山に和紙

を貼る作業も見学し、那須烏山の歴史・文化も肌で感じる街巡りとなりました。参加者は、「雨の日の着物も違った楽しみ方ができて良かった」と笑顔を見せていました。



街に賑わいを興す会

着物で雨の街巡り楽しむ

駅からハイキング

ジオパークのみどころをコースに

4月7日(金)から16日(日)にかけて、J R 東日本による「駅からハイキング」がJ R 大金駅を発着点に行われ、大勢のハイキング客が訪れました。

今回のハイキングは、「クジラがいた大地! 桜並木とジオパーク構想地探訪」をテーマに、ジオポイントとなる「十二口横穴墓群」や「穿入蛇行地形」のほか、桜の名所や南那須観光いちご園でのいちご狩りを楽しめる11.5キロメートルのコースとなりました。

また、ハイキング開催期間中に併せて、市内の中学生や地域住民が、大金駅前観光交流施設を利用し、荒川河川敷で発見された化石などを展示したほか、ガイドなどによりハイキング客をもてなしました。



化石の紹介などが行われた大金観光施設内の展示会場。

おめでとう



赤ちゃん名 (保護者住所)
 中島千晴(孝浩・明日香)金井一丁目
 渡辺心陽(仁・裕子)旭2丁目
 川又(淳・萌)野上
 金原(乃・弘・由香理)宮原
 青木(那・保・聡子)横枕
 手塚(太・理聡・翔子)大金
 小松(恋・直人・真由美)八ヶ代
 海川(叶・勇磨・美紀)福岡
 栗田(乃・重範・仁美)月次
 糸井(咲・貴弘・鮎美)三箇
 照内(日・修佑・麻実)三箇

■ふるさと応援寄附金
 ・林壮一様(宇都宮市)から1万円が本市に寄附されました。
 ・那須烏山そば生産組合様から1万4400円が本市に寄附されました。
 ・杉田大輔様(広島県広島市)から3万円が本市に寄附されました。
 ・高野和彦様(北海道札幌市)から10万円が本市に寄附されました。
 ・匿名希望者様11人から29万円が本市に寄附されました。
 ■那須烏山市立図書館への蔵書寄附
 ・矢口千代三様(大金)からブリタニカ大百科事典23冊が寄附されました。



編集後記



○桜の季節も終わり、新緑がまぶしい季節となりました。この辺の地域は見渡すかぎり自然がいっぱいで四季が感じられていいですよ。ねえ、まさに田舎ならではの楽しみだと思います。

○ちなみに私が何気にこの時期楽しみにしているのは、「カエルの合唱」です(笑)。ゴールデンウィーク頃から田んぼに水が入ると同時に、奏でられるカエルの鳴き声……。寝るのには最高のBGM(だと思っています)。

○でも、先日そんなBGMを聴きながら不思議なことが起きました。朝目覚めて、枕元にあった携帯電話を見たら、電卓機能が開かれていて「20059」と打ってあったのです。なにかの暗号?！もしかして夢を見ながら体が勝手に動いてた?！夢遊病ってやつ……?!

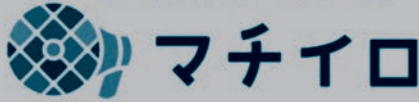
○そんな話を母に話したら、「お母さんは、嵐のメンバーと付き合っている夢を見たよ」と上機嫌。我が家は今日も平和だなと思いました。



Information

広報なすからすやまがマチイロで読めます。

マチを好きになるアプリ



自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

1 役立つ行政情報を見逃さない!



2 自分に合わせた情報が届く!



3 いろいろなマチの魅力をお届け!



ダウンロードはこちらから



<http://goo.gl/8Wjhm9>



<http://goo.gl/WDej4V>

※「広報誌」をご利用の場合、アップデートによって新アプリに切り替わるので、新たにダウンロードする必要はありません。
 ※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
 ※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。
 マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープまで
 TEL:092-716-1404

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

2017.4.1現在
 ()対前月比

人口 26,415(-51)

男 13,066 女 13,349
 出生 12 死亡 43
 転入 126 転出 146

世帯数 9,407

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

★一般図書★

『どんな時でも人は笑顔になれる』

渡辺 和子

『政治の絵本』

たかまつ なな

『皇宮警察』

久能 靖

『超老人の壁』

養老 孟司

『珍獣図鑑』

助川 昭宏

『その調理、9割の栄養捨ててます!』

東京慈恵会医科大学附属病院栄養部

『城をひとつ』

伊東 潤

『素敵な日本人』

東野 圭吾

『決戦! 忠臣蔵』

葉室 麟

★児童図書★

『ビスケットであそぼう』デジタルポケット

『ナビラとマララ』

宮田 律

『しくじり動物大集合』

新宅 広二

『家族になる日』

春日 走太

『学校の都市伝説は知っている』藤本 ひとみ

『うんどうかいがなんだ!』きむら ゆういち

『ドンドン』 さくら せかい

『よるのようふくやさん』 穂高 順也

『みてみておかあさん』 L E E

★CD★

『永縁 ながきえにし』 さだ まさし

『昭和伝説こころの歌 昭和40年~50年』

都 はるみほか

『Ambitions』 ONE OK ROCK

『5th Anniversary Best』 家入 レオ

『EXIST!』 Alexandros

『アロハ! えいごDEこどものうた』

シライシ 紗トリ

『びじゅチューン! CD WEST』井上 涼

『朗読CD 伊豆の踊子』 小川 道子

『朗読CD 羅生門』 田島 令子ほか

文芸コーナー

俳句

齋藤 穂 選

ひとひらは喪服の肩へ花吹雪

孫の吹くトランペットや春の風

満員のキハ40に風光る

もう姉と話すすべなし彼岸寒

肉厚の南高梅の味に惚れ

へそくりが貯まりだんだん威張りだす

ウォーキング犬が私をリードする

有り難いもつたいないは日本の美

川柳

篠崎 酔月 選

閑 元氣(小 埜)

船山 栄一(熊 田)

森 豊(中 山)

石川 義郎(興 野)

福澤 悦子 選

春休み孫と砂利道踏み締めて神社参りし幸福

願う 須田 孝子(城 東)

同級会米寿まではを合言葉にうれしく祈願し

幹事に感謝 平野フミ子(向 田)

身に馴染む亡母の仕立てしどてら着れば悲喜

こもごもが脳裏をめぐる

川俣登志子(旭)

知覧茶でなぜ特攻隊と聞く孫に平和への歴史

今語り継ぐ 吉澤 紅月(南)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計グループ
 (〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
 1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

まかせて安心!!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険: GKくるま・自賠責・GKすまい・地震

◇生命保険: 新総合収入保障・新医療保険・三大疾病

◆お問合せ: 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

☎0287-88-9870

FAX: 0287-88-0234

春の「園遊会」に
 大谷範雄市長が出席

天皇・皇后両陛下主催の春の「園遊会」が、4月20日(木)に東京・赤坂御苑で開かれ、大谷範雄市長も招待を受け、出席しました。今回招待されたのは、中央官庁が分野ごとに推薦した功労者のほか、国會議員や官僚、自治体関係者らとその配偶者。リオ五輪に出場した選手など、全国から約2000人が招待されました。

シリーズ 鳥山高校ってこんなところ！部活動を知ろう編(14)

テニス部

広報「なすからすやま」では、鳥山高校の部活動で頑張る生徒を紹介します！



新入生を迎え新体制となったテニス部は、男子12人、女子10人で活動をしています。

昨年度の大会成績は、関東高等学校テニス大会栃木県予選会の男子ダブルスでベスト16、県高校新人テニス大会の女子団体ベスト8、女子ダブルスでベスト16。北部支部の大会では、女子団体・シングルス・ダブルスで優勝といった好成績を残しています。

目標は、「関東大会出場」。大会に向けて一人ひとりの技術を高めています。

男子部長

3年 皆川将尉さん(旭1丁目)

試合後は、反省・改善を意識して練習しています。一つでも多く勝てるように努力したいです。

女子部長

3年 時庭彩加さん(那珂川町)

練習時間はどこにも負けません！大会に向け、一球一球大切に練習を頑張りたいです。



「ジオパーク」って？

ジオパークとはGeo(地球)とPark(公園)を合わせた造語で、地域の貴重な地質や地形、生態系、文化などの保護・活用を目指す「大地の公園」のことを言います。

那須烏山市には那珂川の蛇行地形や大金クジラの化石など多くの自然遺産と、それらと共に生活してきたことで生まれた文化があります。これらの保護、教育面での活用、観光振興、地域振興などを目的として、地域に愛される栃木県内初のジオパーク「那須烏山ジオパーク」の認定を目指しています。



那須烏山ジオパーク構想だより ①

ロゴマーク決定

那須烏山ジオパーク構想を象徴する、ロゴマークが平成29年3月28日に応募総数306点の中から決定しました。今後はパンフレットや商品パッケージなどに活用していく予定です。



「水が作ってきた大地の変遷の歴史を感じとり、自然と人々の関わりを学べる場としてのジオパーク」をコンセプトに、「里山」「龍門の滝」「三筋の清流」「八溝山系の豊かな緑」「棚田を含む田園」などを配置し、那須烏山市の鳥(カラス)をモチーフにデザインされています。

次号からは魅力あふれる那須烏山のジオサイト(ジオパークの見どころ)をご紹介します。